

## 第1回介護・医療連携推進会議 議事録

日時：平成27年6月17日（水）10：00～11：00

場所：ザタワーズイースト 3F I-link ルーム 1

### 1.開会

(1) 市川市福祉公社常務理事より挨拶

- ・開会にあたり定期巡回随時対応型訪問介護看護事業の現状を説明

(2) 委嘱状交付

- ・市川市福祉公社常務理事より「利用者家族」「市役所職員」の2名に交付

(3) 委員等自己紹介

・委員

地域住民代表者（藤城委員）、当該事業に知見を有する関係者（村上委員）、市川市福祉部福祉政策課（山田様）、利用者家族（佐●委員）

・オブザーバー

市川市福祉部福祉政策課（松原様）、中部包括支援センター（亀田様、相原様）、セントケア市川（鶴川様）、京成ケアサービス（鈴木様）、ハートケア市川（橋内様）

・事務局

常務理事（下川）、事務局長（高久）、訪問介護課課長（長尾）事業管理者（市川）、計画作成責任者（阿部、菅野）、オペレーター（澤村、西田）

### 2.サービス提供状況報告・お客様の状況

- ・事務局（阿部、菅野、西田）より利用者数の推移や事例報告について資料をもとに説明した。

### 4.前回の課題及び今後の課題について

- ・事務局（市川）より、平成27年度の報酬改正に伴い、介護・医療推進会議のあり方について説明した。

■サービス提供状況報告、お客様の状況について感想及び意見

Q<村上委員>

・利用者一覧のE様が1回30分1日4回の訪問と週5回デイサービスに行かれており、デイサービスに行くと介護報酬が減額されるので、利用者としては良いサービスだが事業所の採算ではどうなのか。

A<事務局（長尾）>

- ・採算としては良くないが必要なサービスであると認識している。

<山田委員>

- ・事例の中で、独居の方が、在宅で亡くなられたとあった。医療・介護・住まい・生活・予

防支援といった地域包括ケアシステムにて、行政や国が在宅看護・介護に取り組んでいる。定期巡回において、在宅で高齢者を支えていく必要があると実感している。サービス状況を確認しながら協力していきたい。

<佐●委員>

- ・利用するまでは、何の知識も無かった。1日2回の訪問で何をしてくれるか不安や疑問があった。しかし1日2回来ていただくだけで助かっている。時間的に、仕事をしているので、お任せできること、仕事を中断することが無いので精神的にも助かり、安心感がある。お願いして良かった。

Q1<藤城委員>

- ・このプランに関わっているスタッフは前と変わったか。多くなったか。減ったか。

A1<事務局（長尾）>

- ・人数は多くなりました。

Q2<藤城委員>

- ・12名の利用者へ平均訪問回数3.3回とあるが、常時巡回している職員は何名か。

A2<事務局>

日勤2人、夜勤4人体制で行っている。

<藤代委員>

- ・1日4回、1回30分の訪問で1時間以内に巡回できれば良いが、受け持ち地域の範囲が広いのでかなり時間がかかると、毎回会議で言われるひとつの問題である。平均介護度3.8とは重い方で、1日3.3回訪問することは、スタッフに負担がかかっているのではないかと思う。

<事務局（長尾）>

- ・スタッフの件ですが、弊社の場合は、直行直帰のヘルパーが200名ほど居る。日勤帯は、できるだけ自宅の近くで訪問できる方をお願いすることを考えている。地域が広いから出来ないことを問題にするのではなく、広い地域をどのように対応するのが良いか検討しながら進めていきたい。

<藤城委員>

今後ともお客様本位で、受ける側の気持ちを大切にしたい。今まで福祉に携わってきた中で一番油断してはいけないことが、慣れすぎることである。1年目は気が引き締められているが、2年目は慣れはじめ、気が緩んでくるので十分注意してこれからも頑張ってください。

サービス提供状況報告、前回の課題及び今後の課題については、今まで通りお願いしたい。

### 3.ご利用者代表紹介

- ・事務局（市川）より、平成27年2月よりご利用されている佐●様のご家族と担当ケアマネジャーの橋内様をご紹介します、ご意見・ご感想をいただきました。

<佐●様>

- ・随時型なのでもっと利用しても構わないと言われている。胃ろうをしているので、朝昼夜

の食事時間は私が居ないといけない。夜に寝るときのおむつ交換はお願いしたいと思うが、胃ろうからの投薬が同時にあるのでお願いできない。もっとお願いしたいと思うが、現在の2回が限度だと思う。幸いにも状態が安定しており、退院時よりずいぶん良くなっている。来ていただけているだけで助かっている。想像していた以上のサービスで良かった。

<ハートケア市川 橋内様>

- ・このサービスへの理解が完全にできていなく、漠然とお願いをした状況もあったが、アセスメントをしていただき、佐●様に対する必要なサービスが決まった。当初は、吸引等が必要と予想されていたが、夜間は良眠していただく為サービスを抑えることになった。結果的に、落ち着いた状態が続いている。要介護度5の利用者であることから、状態が変わった際の対応として、研修を受けていただいたことは、ありがたいと思っている。ご家族においても、レスパイトの目的で、ショートステイの利用、身体機能の維持の為、デイケアの利用を行っている。状態が変わった時に柔軟に対応していただけるのが、サービスの強みなので、今後ともよろしくお願いしたい。

上記の通り、委員の方より頂きました、貴重なご意見を元に今後とも取り組んでまいります。長時間にわたり、ありがとうございました。

以上

文責：市川市福祉公社  
訪問介護課 巡回係 西田